広報かじき
No.361
昭和59年 11月号
発行 加治木町
編集 総務課

火の用心

紅葉が終わり、木の葉が散り始めると、そろそろ動物たちの冬眠シーズン。

冬という言葉は、雪国ならずとも身が引き締まる思いがします。

木枯らしが吹き始めると冬の火災シーズンです。

今年も十一月二十六日から十二月二日まで「秋の全国火災予防運動」が行われます。

冬眠をしない人間が冬を過ごすとき、どうしても火が恋しくなります。

冬を暖かく過ごすために、身も心も引き締めて火の元には十分注意しましょう。

火災に備える（姶良郡西部消防組合）

◇人口23,087人(＋41) 男10,898人(＋7) 女12,189人(＋34) 世帯数 7,891(＋16) 59.9.1現在（　）前月比

一般会計歳出総額 四十五億三千四百三十万七千円

五十八年度の決算を認定

第3回定例町議会

第三回定例町議会は、九月二十一日から十月十六日まで二十六日間の会期で開かれ、一般会計補正予算や五十八年度の決算認定などの議案十九件と請願二件、陳情六件、意見案三件を審議。議案と意見案を可決し、請願一件と陳情三件を採択しました。

義務的経費が増加

昭和五十八年度の一般会計と国民健康保険、水道事業などの特別会計の決算が十月十六日、第三回定例町議会で認定されました。

一般会計の決算をみると、五十七年度に比べ公債費などの義務的経費が増加しており、引き続き健全財政確立に向けて一段の努力が必要と思われます。

六千八百六十四万八千円を繰り越す

一般会計の決算額は、歳入四十六億七千二百九十五万六千円（五十七年度四十一億八千四百十八万五千円）、歳出四十五億三千四百三十万七千円（五十七年度四十一億四百五十七万一千円）です。

この差し引き額一億三千八百六十四万八千円のうち七千万円を決算積立金として、財政調整基金に繰り入れ、その残額六千八百六十四万八千円（五十七年度三千九百六十一万四千円）が、五十九年度の財源として繰り越されたことになります。

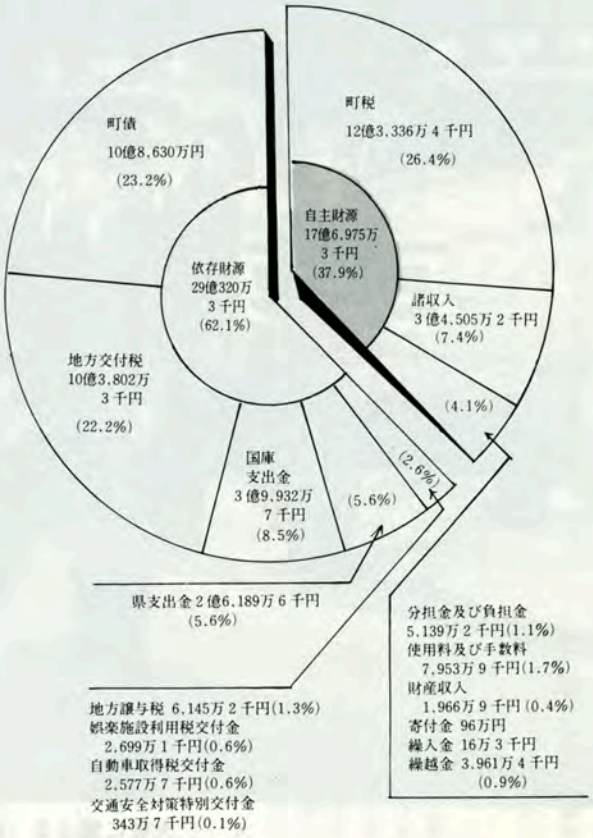
自主財源は三十七・九パーセント

歳入の内訳は、自主財源十七億六千九百七十五万三千円（三十七・九パーセント）、依存財源二十九億三百二十万三千円（六十二・一パーセント）となっています。

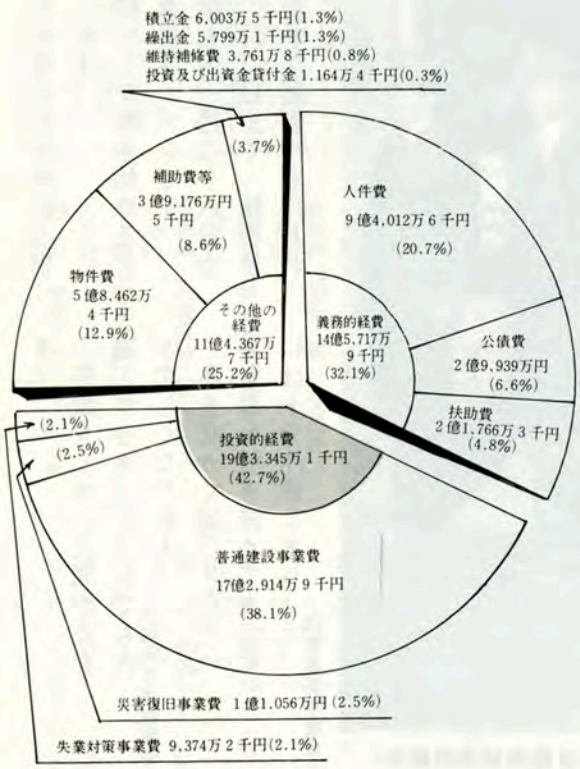
自主財源の主なものは、町税十二億三千三百二十六万三千円、諸収入三億四千五百五万二千円、使用料及び手数料七千九百五十三万九千円、分担金および負担金五千一百三十九万二千円などで、町税は歳入総額の二十六・四パーセントを占めています。

一方、依存財源の内訳は、地方交付税十億八千六百三十万円、国庫支出金三億九千九百三十二万七千円、町債（町の借金）十億八千六百三十万円、県支出金二億六千一百八十九万六千円などで、地方交付税や町債などが歳入の大きな割合を占めています。

▽58年度歳入 46億7,295万6千円



▽58年度歳出（性質別）
45億3,430万7千円



一人当り税負担は五万四千百六十九円

五十八年度の町税負担額は、一世帯当り十五万九千三百四十九円（五十七年度十五万六千三百十七円）、一人当り五万四千百六十九円（五十七年度五万二千六百六十六円）となっています。

錦江幼稚園建設事業や町道整備を実施

五十八年度中に実施した主な建設事業は次のとおりです。

▽錦江幼稚園建設事業一億三千百九十五万三千円▽町道整備事業（小山田線ほか二）九千三百八十万円▽木田本通線六千万円▽臨時地方道整備事業四千五百万円▽農業基盤整備事業三千七百三十七万円▽臨時河川等整備事業三千百五十五万円▽加治木港湾整備事業七百八十万円▽塩入川河川改修事業六百万円▽農道整備事業（藤次郎ケ迫ほか一）一千六百万円▽消防施設整備事業（自動車購入）六百四十二万円▽加治木小学校建設事業（用地購入費）九億二千三百二十八万六千円など。

新しい選挙管理委員会委員

新築された錦江幼稚園

選挙管理委員会委員を選出

任期満了に伴う選挙管理委員会委員および補充員の選挙が、十月十六日の最終本会議で行われ次のかたがたが選ばれました。

任期は四年間です。

▽選挙管理委員会委員

嶺元政範（上浜）六反政雄（楠園）向江豊志（菖蒲谷上）隈元義巳（茶碗屋）

改選後初めての委員会が十一月七日、役場会議室で開かれ、委員長に嶺元政範氏を、同代理者に隈元義巳氏を選出しました。

一億七千五百六十三万七千円を追加

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、一億七千五百六十三万七千円を追加し、予算総額は三十九億六千二百六十六万四千円となりました。

追加された主なものは、次のとおりです。

▽庁舎総合案内板四十万円▽町地下水源および温泉源調査委託料四百六十万円▽財政調整基金積立金四千六百四十四万四千円▽西部衛生処理組合負担金五千七百七十七万八千円▽家畜導入事業資金供給事業補助（三十頭）二百九十一万円▽緑の郷土づくり事業及び治山工事請負費三百七十万五千円▽嶽地区作業道工事請負費三百九十万円▽吉原北線ほか町道改良補修工事請負費一千六百万円▽町道舗装工事請負費五百万円▽池田上橋補強工事請負費八百万円▽辺川上地区の不発弾処理対策費八百十七万円▽柁城小学校のスクールバス購入費七百万円▽加治木小学校建設事業（校門、外柵工事請負費）四百七十二万円など。

給水収益は一億九千五百八十万八千円

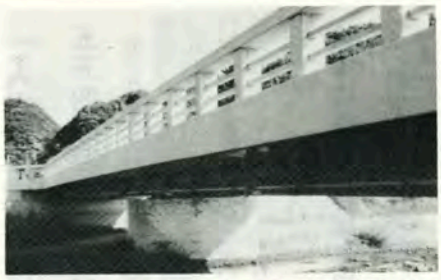
五十八年度水道事業決算

水道事業の五十八年度の給水実績は、給水人口二万百二十人、給水戸数七千七百二十七戸で、給水区域内の普及率は九十九・七％となっています。

年間の有収水量は二百二十八万二千九百三十九立方㍍で、五十七年度に比べ八千七百十九立方㍍増加しました。

また、改良工事は、総額三千七十七万四千円（うち工事請負費二千四百八十八万八千円）を投じ、消火栓を五か所に、導水管・配水管を一千九百三十七㍍敷設し、五十八年度末の総管延長は十一万七千五百三十五㍍となりました。

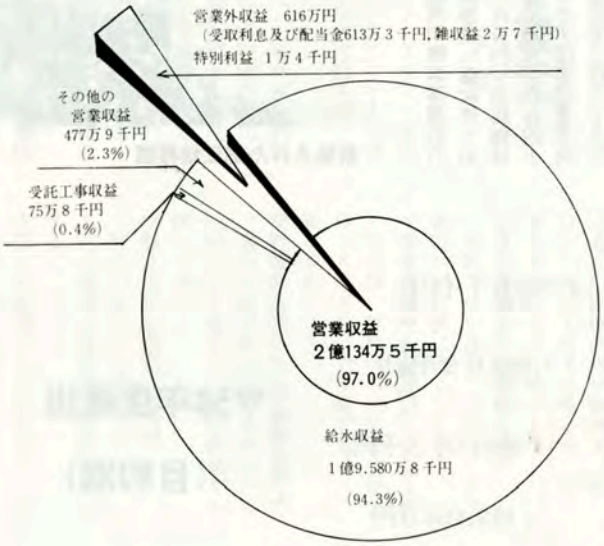
収益的収入（事業収益）は、二億七百五十二万円（五十七年度一億九千九百四十万四千円）で、収益的支出（事業費用）は、二億五千三百十五万四千円（五十七年度二億三千五百二十万七千円）となり、損益勘定では四千五百六十三万四千円（五十七年度三千五百八十万三千円）の純損失となりました。



復旧された日木山橋の橋りょうに配水管を添架

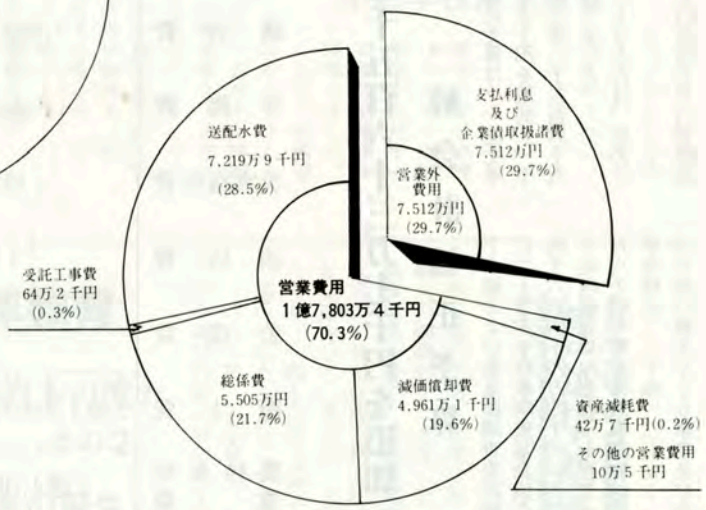
▽水道事業収益

2億752万円



▽水道事業費用

2億5,315万4千円



十二月十九日午後二時から電話のかけかたが変更に

電報電話局では、かねてより市外局番なしで電話がかけられるようにして欲しい、というご要望にお応えして工事を進めています。

いよいよ十二月十九日午後二時から、国分市および姶良郡十一町相互間の通話は「市内局番と電話番号」だけでかけられるようになりました。

なお、市外局番は、国分市および姶良郡の十一町は「〇九九五」に統一されることになります。

町相互間にかける場合

- 加治木町から姶良町へかける場合（市外局番はいりません）
  現在（09956）　5-〇〇〇〇
  変更後　　65-〇〇〇〇

市外局番・市内局番変更例

現在
（09956）　2-〇〇〇〇
変更後
（0995）　62-〇〇〇〇

同じ局および同じ町内にかける場合

- 加治木町内の場合（市内局番は必ず2ケタまわしてください）

現在　2ー〇〇〇〇　→　変更後　62ー〇〇〇〇

一般会計 39億6,266万4千円

59年度上半期の財政事情を公表

町では、年二回町財政の状況について公表することになっています。

これは、皆さんの納めた税金や、国・県からの収入がどうなっているか、どのように使われているかなどについてお知らせするもので、五十九年度上半期（四月から九月）の状況は次のとおりです。

二億八千万円余りを補正

一般会計は、当初予算額歳入歳出それぞれ三十六億七千九百万円に、五回の補正二億八千三百六十六万四千円を行い三十九億六千二百六十六万四千円となりました。

上半期における歳入歳出の状況は、収入済額十九億六百十二万九千円（収入率四八・一パーセント）、支出済額十二億八千三百四十七万七千円（執行率三二・三パーセント）となっています。

町民一人当りの税負担は五万四千二百九十二円

町民の税負担の状況は、町予算のうち三一・七パーセントが町税によってまかなわれていることになり、これは一世帯平均で十五万八千九百十八円、一人当り五万四千二百九十二円の負担となります。

小学校建設事業に二億二千五百三十万四千円

歳出の投資的経費の内訳は、普通建設事業費十億五千九百六十二万一千円、失業対策事業費九千九百三十七万八千円、災害復旧事業費三千二百七十万四千円で、予算に占める割合は三〇・一パーセントとなっています。

普通建設事業のうち主なものは次のとおりです。

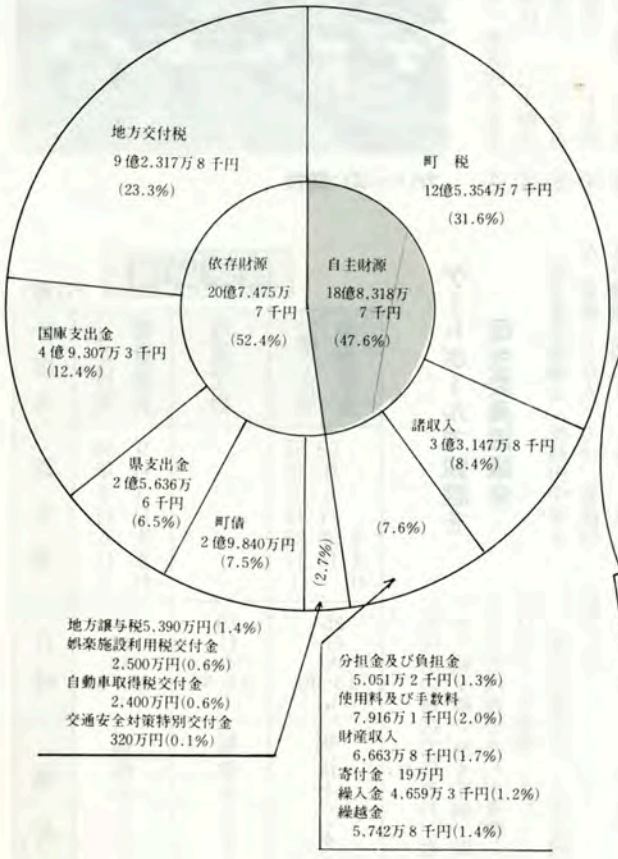
▽小学校建設事業二億二千五百三十万四千円▽保健センター建設事業八千八百九十五万四千円▽農村基盤整備事業四千四十万円▽農業構造改善事業四千九百二十三万六千円▽臨時地方道整備事業四千万円▽竜門橋新設事業四千二百万円▽日木山歩橋二千三百九十万円▽木田本通線六千万円▽仮屋馬場通線九千万円▽公園整備事業一千百万円▽臨時河川等整備事業二千五百万円▽県単土地改良事業二千万円など。

九月末の契約率は五〇・九パーセントとなっています。

建設が進む加治木小学校

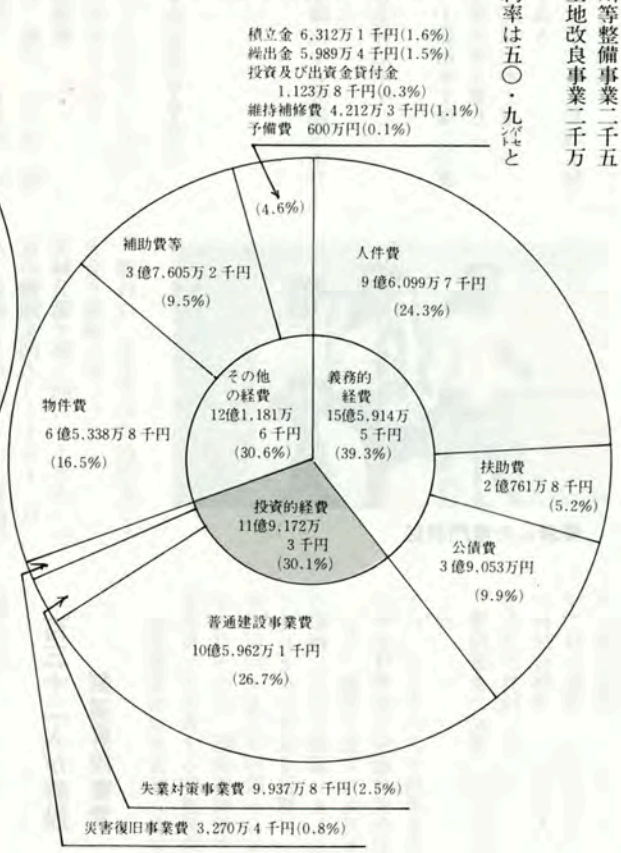
▽59年度上半期歳入

39億6,266万4千円



▽59年度上半期歳出

39億6,266万4千円



竜門地区が優勝と躍進賞を獲得

第三十六回 町民体育祭

第三十六回町民体育祭は、「体育の日」の十月十日町営運動場で開催されましたが、雨のため午前中で競技は中止されました。

競技は九地区対抗で、時折降る雨の中、熱戦が展開され、午前中の競技の採点で順位を決定し、竜門地区が優勝しました。

また、注目の躍進賞は、昨年の七位と八位から三位へと躍進した竜門地区と錦江第三地区が獲得しました。

昼食時間には、今年一年間社会体育活動に功績のあった個人や団体の表彰が行われました。

体育祭の成績は次のとおりです。

（○内は前年度の成績です。）

優勝　竜門地区　十五点　③③

二位　城東地区　十二点　③

三位　城南地区　十点　⑤

四位　城北地区　八点　①

五位　錦江第一地区　六点　②

六位　錦江第三地区　五点　⑥

七位　錦江第二地区　四点　⑧

八位　永原地区　三点　⑦

九位　城西地区　二点　⑨

秋空の下で競う

城北地区が総合一位

社会体育の成績

五十九年度に行われた各種社会体育の成績では、城北地区が昨年に引き続き一位となりました。

（○内は前年度の成績です。）

一位　城北地区　五十九点　①

二位　城東地区　五十七点　②

三位　竜門地区　四十八点　⑦

三位　錦江第三地区四十八点　⑧

五位　錦江第一地区四十五点　③

六位　永原地区　三十四点　⑤

七位　城南地区　三十点　⑥

八位　城西地区　十九点　④

九位　錦江第二地区　十六点　⑨

▽年間総合躍進賞

竜門地区　七位から三位に。

錦江第三地区　八位から三位に。

力いっぱい競技

加治木中女子が団体優勝

第17回義弘公奉賛弓道大会

第十七回義弘公奉賛弓道大会が、日木山の精矛神社境内で十月二十一日に行われ、県内外から百十一チーム、三百三十人が参加し、日ごろ鍛錬した技を競い合いました。

団体の部の結果は次のとおりです。

◎中学の部

▽男子団体…

①帖佐中K②陵南中E③帖佐中F

▽女子団体…

①加治木中B②加治木中C

◎高校の部

▽男子団体…①加治木工業D②鹿児島商業A③加治木工業E

▽女子団体…①加治木工業女子②鹿児島女子高A

◎一般の部…①県庁A②都城木曜会A③加治木町役場A

健康診査

（12月）

行事名	該当者	日時	場所
三か月児健康診査	59年8月6日～9月3日生まれ	3日(月) 13:30～	福祉センター
母親学級		19日(水) 13:30～	福祉センター
一歳六か月児健康診査	58年5月28日～58年6月25日生まれ	25日(火) 13:30～	福祉センター

ゲートボールで親睦を

民生委員協議会

民生委員協議会（総務田中実さん、委員二十八人）では、委員相互の親睦を図ろうと十月十一日、天神公園で第一回のゲートボール大会を開催しました。

競技は、それぞれの担当区ごとに校区別の対抗で行われ、竜門校区が三戦全勝で他を圧倒。田中実さんと竹内親男さんが寄贈した大トロフィーを獲得しました。

二位は柁城校区、三位は錦江校区でした。

優勝した竜門校区

百三十二人が昇段

剣道昇段審査

剣道連盟加治木支部（増田昌弘支部長）が主管する剣道昇段審査が九月十六日、町営体育館で行われ、百六十五人が初段から三段までそれぞれの昇段を目標に、日ごろ鍛錬した技を披露しました。

また、審査に先立ち九月九日には町営体育館で剣道講習会が開催され、百七十二人が指導を受けました。

昇段審査の結果、百三十二人がそれぞれ昇段しました。

▽初段合格者　七十五人

▽二段合格者　三十四人

▽三段合格者　二十三人

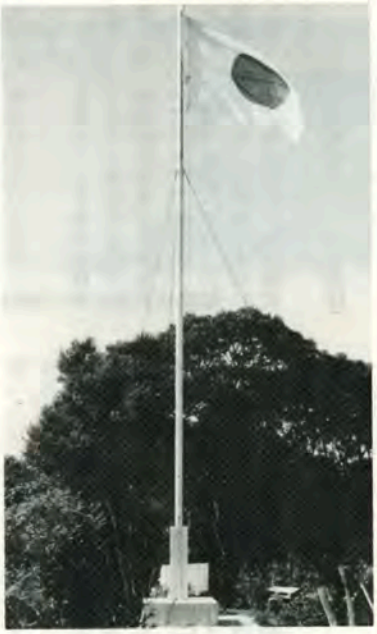
蔵王岳の山頂に日章旗を掲揚

今朝も町のシンボル蔵王岳の山頂には日章旗がへんぽんとひるがえっています。

これは、NHKの大河ドラマ「山河燃ゆ」の主人公が本町出身の伊丹明氏をモデルにしていることから「加治木町を内外にピーアールしよう」と有志が集まり、蔵王岳国旗掲揚台建設実行委員会（林敏克委員長）を結成。県内外から百六十万円余りの寄付を募り、高さ十㍍の国旗掲揚台を作り揚げているものです。

旗は、縦三㍍、横四㍍の特別注文した大きなもので、九州自動車道や日豊本線からも眺められ、人目を引いています。

その昔、青雲舎、有為舎、郁文館などの舎活動が華やかなりしころ、舎生たちは日曜日、祭日になると、この蔵王岳に登り、木田にある湯湾岳の頂上と両方に旗をたて、陣取り合戦を行っており、伊丹明氏もしばしば蔵王岳に登り国旗を掲げていたそうです。



蔵王岳の国旗掲揚台

自治会長が紙しばいを「とび出すお話しの時間」

蔵王団地自治会で十月十三日、堀江東平自治会長が「ありのぼうけん」などの紙しばいを行い、集まった六十人の子供たちは目を輝かせて見入っていました。

これは、町立図書館が今年度から実施しているとび出すお話しの時間を取り入れ、実施しているもので今回が五回目。子供たちの豊かな情操を育てようと、この日は堀江自治会長自ら紙しばいの読み聞かせを行いました。

どんなお話しかな

みんなでつくろう静かな町を

ご存じですか？

室内や階段の足音、扉の開閉音、風呂などの給排水音などは、階下や隣の部屋に意外と響くものです。

これは、壁や柱などを通じて音が伝わるもので、固体伝搬音とよばれています。

団地などにお住いの方は、このような思わぬ音がご近所の迷惑になっていないかを気を付けましょう。

身近かな騒音によるトラブルを防ぐには、一人ひとりのマナーや心くばりが大切です。

郷土史探訪 17 毓英館

今日、我が国の教育条件が充実し、子供たちは大変恵まれた環境で教育を受けています。

しかし、現代の教育にも歪が出て来てその是正が求められており「臨時教育審議会」が設置され、今後の教育改革の方向が打ち出されようとしています。

では、徳川時代の加治木の教育はどんな風に行われていたのでしょうか。

当時の教育は義務制などはなく、いわゆる寺小屋教育が中心で「読み書き・そろばん」が主な内容になっており、今日の国語・習字・算教に相当するものだったのでしょう。

天明四年（一七八四年）当時の加治木領主島津久徴（第六代）は、生来学問好きの殿様でしたので、長崎から伊藤世蠹という学者を招いて加治木の子弟の教育について相談し、学校を起し加治木の子弟に教育を授けました。これが加治木の学校の起りで「毓英館」といいます。

場所は、現在の愛宕神社下で当時は緑下園といって島津久徴の荘園地だった所です。

毓英館のモデルになったのは鹿児島の造士館で、総裁の下に教授、助教、訓読師、句読師などの教官が置かれていました。

毓英館は、加治木の学問の府として隆盛を極めましたが、久徴が亡くなると、毓英館の教育は余り行われなくなりました。

第八代領主の久徳は、新納時成に命じて再興に努力させましたので、毓英館の教育は再び盛んになりました。

その後、明治維新の学制改革で毓英館の名は消えて第七郷校と改められました。

（林力夫）

里ノ上と西ノ原の田の神が上京

ほほほえみの石仏展に展示

里ノ上と西ノ原の田の神像二体が、東京で行われた「ほほえみの石仏展（十月十二日から二十四日）」に展示されるため、初めて上京しました。

田の神像は九月二十六日、福昌禅寺の冨永国俊住職によって祭事が行われた後、慎重に梱包され、地区民の見送る中、東京へと旅立ちました。

「ほほえみの石仏展」は、故郷を離れ都会で生活している人たちに、自分を見つめる機会を作ってもらおうと、全国曹洞宗青年会が企画し開催したもので、県内から九体の田の神が展示されました。

初の上京（里ノ上にて）

春日神社前に仁王像を復元

町ロータリークラブ

復元された仁王像

春日神社の島居の前に仁王像一体が、町ロータリークラブ・社会奉仕員の手により九月二十七日復元され、参拝者などの目を引いています。

この仁王像は、上半身が十数年前に、下半身が二年程前の河川改修の際、網掛川の川底から発見されたもののこれまで放置されていたもので、ロータリークラブの松田繁美さんらが「文化財を大切にしよう」と、資金を出し合い復元したものです。

仁王像は、欠けていた手も補修し、立派に復元されています。

捨ててはいけない“乾電池”

生活学校が学習会

“なぜ、乾電池をごみとして捨ててはいけないのだろうか。”

生活学校では今、全国的に注目されている乾電池の害と処理について、対話集会を九月十七日役場会議室で開催しました。

まず、乾電池の中に含まれる水銀の害について、加治木保健所の公害担当から話を聞き、水銀についての認識を新たにしました。

また、売り手の商工会や店の担当者から回収の現状を聞き、話し合いの中でそれぞれの立場で次の事を努力しようと決めました。

▽買う立場から（家庭の中で）

家族で話し合い、分別し、必ず黄色い回収袋に捨てましょう。

▽売る立場から（商店の人たちは）

店の隅に乾電池の回収箱を置き買う人にどこにでも捨てないよう知らせましょう。

▽行政の立場から（保健衛生課は）

黄色い回収袋の利用を呼びかけ回収の日を指定し、分別収集をお願いする。

▽私たちは（生活学校生は）

町内の各小・中学校に、子供たちへの指導と回収箱設置をお願いする。

※明るい地域づくりをめざし、共に運動の輪を広げましょう。

青少年の豊かな心を育てよう ㉑

青少年教育

鹿児島・加治木の流れ（その2）

『郷中教育の誕生』

鹿児島の学問・文化において最大の画期的なことは、十一代島津忠昌の時で、忠昌は室町時代立山の禅僧佳庵玄樹が明に七年間滞在して「朱子学」を修めたのを、一四七八年（文明十年）に招へいしたとされています。

一四八一年「大学章句」という日本最初の朱子学の新注本を鹿児島の地から出版し、朱子学を正しい儒学として広め、応仁の乱で荒廃した「京都」に対して、日本語読みの拠点となり、日本の学問の一中心となりました。これを薩南学派と称しています。

また、儒仏思想の調和も説き、柱庵の高弟舜田とその弟子舜有を通じて、島津中興の祖十五代貴久の父日新斉島津忠良に受け継がれ、神・仏・儒の三教一致の教えを発展させました。

十六代島津義久、十七代島津義弘は儒学を重んじました。

佳庵の流れをくみ、加治木町に関係の深い南浦文之は「屋久聖人」といわれ、十八代家久の侍読となりました。

文之の弟子泊如竹は、十九代光久に宋学を講じたといわれています。

このように薩南学派が鹿児島の教学として確立しました。

特に戦国時代、島津の三州統一、九州制覇および朝鮮の役、関ケ原と忠良から貴久・義久・義弘公の武将は、忠良の神・仏・儒を一体とし「観念」にとらわれず「柔軟」に物に対応し、「総合的」判断力、具体的行動を決断する「薩摩的弁証法」を確立したといわれ、これが「薩摩実学」と言われています。

郷中教育の理念で「議を言うな（不言実行）」と「実践」を重要視するのもこの「実学」の特徴といわれています。

農林水産大臣から感謝状
汰木清治さん

表彰状を手に汰木さん

統計の日の十月十八日、辺川中の汰木清治さんに農林水産大臣から感謝状が贈られました。

汰木さんは、「米の生産費調査」の対象農家として、水稲作の作業の始めから販売までの間の金銭や労働力のやりとりを記帳・報告する調査を十年間も続けてこられ、その功績が認められたものです。

おめでとうございます。

町民室に花を
妹尾加代子さん

役場が現在の場所に移転してから二年余り。町民室には美しい生け花がいつも置かれています。

これは、山月流の生け花グループの妹尾加代子さん（蔵王団地）が、自主的に飾っているもので、妹尾さんたちは役場のほか、商工会館や警察署、駅などにも花を飾っており、喜ばれています。

ありがとうございます。

生け花と妹尾さん

クマザサ

小竹の葉は
　み山もさやに乱るとも
　　われは妹思う
　　別れ来ぬれば
　　2一三三　柿本人麿

万葉の一首であるが、石見国の女を妻とした人麿が、京に帰らねばならない用ができた。多分公用であろう。せっかく睦み親しんだ妻と別れるのは今さら悲しい。

コツコツと京に道を辿る。越え行く山路にサヤサヤと笹の音がさやぐ。突然、山のふもとから風が吹き上げて来る。全山の笹が一斉に音をたてる。恋に燃ゆる心も別離の痛心も、さやかな山笹の清涼の音によって昇華されてゆく。

清らかな恋心を映しだした、万葉の中の秀歌である。

この例歌の中の笹は、クマザサであろう、といわれています。

クマザサは、常緑の竹で四〇から一〇〇センチメートルのイネ科植物。冬になると縁が白くなり、緑とのコントラストが美しく、正月にめでたい飾りとして利用されます。

日本のれい明、天の岩戸が開いたのは、「天のうずめの命が、クマザサを打ち振ってショーをしたため」と日本人にもっとも

クマザサは、常緑の竹で四〇から一〇〇センチメートルのイネ科植物であります。

クマザサは、糖尿病、高血圧に煎服し、胃のもたれに青汁、利尿防腐にと利用されてきました。

特に、日本人好みの「すし」に飾りとして添え「防腐・ミネラル」の効を伝承しています。

ちなみに、成長後皮が落ちるのが竹で、落ちないのが笹と分類しています。

これほど馴じみ深い植物ながら俳句歳時記に無きは、何故。

（筆者　上萩大治）

※無断転載は、ご遠慮ください。

竜門の会

花芒瀬の高鳴りのほしいまま　鶴田　耕
初鵙や空の深さの一入に　高木　正男
白鷺の秋冬焼に染まりけり　古江　重美
牛小屋に新車光れり豊の秋　横山　江南
きつつきの谺待ちをり宿の朝　柳田　稔
日の翳り早き山路や薄紅葉　加藤　白柳
乱れ咲く萩のひとむら夕日映ゆ

秋日さす炭焼窯の竹瓦　上野　光
轟の瀬音も秋や鷺の翔つ　恒吉　斗南
受験子の灯の露けさよ星の夜半　川崎　黒兎
井之上透山

日曜在宅のお医者さん

月日	当番医	住所	電話	
12月2日	池田医院	本町358	2－2220	内科
9日	大川医院	錦江町104	2－2032	内科
16日	川畑医院	錦江町234	3－1499	内科
23日	牧医院	朝日町129	3－2222	内科
29日	上妻医院	小山田100	2－2421	内科
30日	鬼丸小児科	新生町127	2－0308	小児科
31日	松本外科	木田728	3－1911	外科

▽原則として診療時間は、午前九時より午後五時まで。また、当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。

お知らせ

失業給付は明るく正しく受給

十一月は「雇用保険不正受給防止啓発月間」です。

働いた時は、必ず確実に届けましょう。

不正受給をすると処分されます。

不正受給金額の二倍に相当する額の納付が命じられたり、詐欺罪として刑罰に処せられることもあります。

▽失業給付について、わからないこと、ご相談はお気軽に国分公共職業安定所（電話〇九九五四ー五ー五三二一）へおたずねください。

おいしい新米は知事許可店で

米は、政府管理米を責任をもって販売している県知事許可店から安心して買いましょう。

町内の許可店は次の十四店です。

許可店名	所在地	電話番号
大串米穀店	岩原西	③一〇六四
榎園商店	御狩山	②二七一八
今田商店	新富町	②二五二三
瀬戸山米店	錦江町	③四一二〇
橋口米屋	錦江町	②二七一七
池田(国)商店	永原	③三二八一
三幸商会	本町	②二五二四
岩田商店	朝日町	②二三三五
池田(ス)商店	岩原東	②二〇五八
法元商店	田中	②二三一七
今薗商店	本町	②二五四三
岡山米店	錦江町	②二一七五
村田商店	朝日町	③一六〇〇
片平商店	仮屋町	②二三九一

▽この店以外での店頭販売は、食管法に違反しています。

不法コードレス電話に注意しましょう

無線機を電話機に接続して、車携帯用の無線機からどこへでも電話ができる「移動電話」「自動車無線電話」「コードレステレフォン」等と称するものが一部不良業者によって宣伝・販売されています。

しかし、無線を利用して自宅の加入電話機に接続することができる電話や、車から無線で電話ができる装置は、電々公社に免許されている「コードレス電話」および「自動車電話」だけで、他のものはすべて違法です。

最近、この種の違法無線による警察無線、防災行政用無線、航空用無線等重要通信に対する混信妨害が多発して社会問題となっています。

違法な無線機を持っていたり、使ったりした場合は、一年以下の懲役または二十万円以下の罰金という罰則が適用されます。

不良業者の甘言に惑わされることがないよう注意しましょう。

「使っている人」や「売っている店」等の情報は、九州電波管理局監視部（電話〇九六ー三六八ー六八六三）へお知らせください。

うぶ声

出生児　保護者

榎谷　孝幸　充　自治会
宮園　千尋　和人　蔵王団地
田淵　真衣　正和　里ノ上
脇　修一　正則　蔵王団地
渡邊　郁美　実　蔵王団地
市薗　侑奈　義一　上浜
日高　政俊　政巳　内原田
大園　由佳　正次　岩原東
地久里友仁　政己　下東木
崎山　泰広　勉　小鳥
堀之内　舞　強　楠園
坂元　亜記　晴男　岩原東
田川慎太郎　清　西塩入上
犬童とも子　秀貴　岩原東
小原由美子　政行　西江口団地
猪俣めぐみ　勝巳　岩原西
徳丸　広樹　千秋　赤坂
大宮路香菜　和美　札立
黒田　佑輔　文人　蔵王団地
鍵山　隼人　巳徳　赤坂
田中　義浩　義久　竹下
脇田のぞみ　満穂　赤坂
大村　康章　茂実　岩原西

▽十月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽にご相談ください。

秘密は固く守られます。

宮城俊治　港町一三一番地一二一（電話三ー三七八七）
田中重男　仮屋町六四（電話二ー二二六〇）
中摩多美子　反土二七五六（電話二ー二七六八）

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　岩原西　羽島一英（父長義八三）
三万円　東諏訪　前田為清（母ノブ七三）
五万円　上木田　大脇修身（父菊志八二）
三万円　中野　坂元俊英（母ハル七三）
二十万円　柳田　後藤ムメ（夫親八四）
三万円　吉原　古江弘（母ヤス子五七）
十万円　東諏訪　上山テル（夫嘉成六八）
三万円　川内　福元正彦（母フサエ七三）
三万円　岩原東　井之口晃（母フヂ八三）
三万円　柳田　山口訓子（夫高昇六四）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　中野　坂元俊英（母ハル）
五万円　柳田　後藤ムメ（夫親）

＝町国民年金協議会へ＝

二万円　吉原　古江弘（母ヤス子）

▽十月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

記事訂正とおわび

十月号の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

▽三ページ「合同金婚式」の記事中……神宮ナヨをナヲに

▽四ページ「救急医療県民講座」の記事中と写真説明の…壱岐健一郎先生を健二郎先生に

▽六ページ「青少年の豊かな心を育てよう」の記事中…「兵子二世家庭訓」を「兵子二才家庭訓」に、「二世組」を「二才組」に

▽十ページの「うぶ声」の記事中…保護者岩下秀久を秀人に訂正します。